

あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789, !? * & %

38Q / 50H

或曇った冬の日暮である。
私は横須賀発上り二等客
車の隅に腰を下して、ぼ
んやり発車の笛を待つて

22Q / 33H

或曇った冬の日暮である。私
は横須賀発上り二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車
の笛を待っていた。とうに電
燈のついた客車の中には、珍
らしく私の外に一人も乗客は

16Q / 27H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発
上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんや
り発車の笛を待っていた。とうに電燈の
ついた客車の中には、珍らしく私の外に
一人も乗客はいなかった。外を覗くと、
うす暗いプラットフォームにも、今日は
珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、

28Q / 38H

或曇った冬の日暮である。私は横
須賀発上り二等客車の隅に腰を下
して、ぼんやり発車の笛を待つて

20Q / 30H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二
等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を
待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、
珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外
を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、今

16Q / 24H

或曇った冬の日暮である。私
は横須賀発上り二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車
の笛を待っていた。とうに電
燈のついた客車の中には、珍
らしく私の外に一人も乗客は